

事業評価シート（平成23年度分）

1. 事業の位置付け

事務事業名	農道・用排水路整備事業		
事業担当	経済部 農水産課		
事業種類	●ハード ○ソフト		
総合計画の位置付け	'04	基本目標4 活力とにぎわいに満ちたまち	
	'01	①〈持続可能〉産業の発展を持続させる	
	'02	2 産業の経営基盤を強化する	
根拠法令等			
対象・受益者	農業者、市民	事業期間	
委託、協働	【委託： <input type="checkbox"/> 3セク・財団 <input type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> NPO <input type="checkbox"/> その他 】 【協働： 水利土木組合、自治会 】		
目的・目標		事業の概要	
農道や用排水などを整備することにより、農業の多面的機能による環境の保全を確保し、農業の生産性の向上と農業経営の安定が図られています。		農業生産性の向上のため、岡崎、南金目地区などの農道を整備します。また、農業用水の確保を図るため、横内、北金目地区などの用排水路を整備します。	

2. 事業の検証

活動指標①	指標名					単位	
	説明・算定式						
		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度		
	目標						
	実績						
活動指標②	指標名					単位	
	説明・算定式						
		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度		
	目標						
	実績						
成果指標①	指標名	3年間の農道整備進捗率				単位	%
	説明・算定式	H22:北豊田・岡崎等33.3%、H23:北豊田・岡崎等33.3%、H24:岡崎・小鍋島等33.4%。各年度645m整備する。(平成22年度から)					
		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度		
	目標		33.3	66.6	100		
	実績		66.1	102.4			
成果指標②	指標名	3年間の用排水路整備進捗率				単位	%
	説明・算定式	H22:横内・大島等33.3%、H23:横内、豊田小嶺等33.3%、H24:南金目・片岡等33.4%。各年度735m整備する。(平成22年度から)					
		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度		
	目標		33.3	66.6	100		
	実績		52	117.9			
進捗状況	①：予定どおり						
	遅れている理由						
平成23年度の主な取組と成果							
農道や用排水路を改修整備し、農業生産性の向上と安定を図りました。農道改良L=703m、用排水路(防護柵設置含む)L=1,454m							
平成23年度の検証結果	A：成果があがった						

事業分析	項目	分析の視点	先の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> ■ 市民ニーズ ■ 事業目的の達成状況 ■ 市の関与の必要性 ■ その他 	農道の拡幅による大型機械の導入や用排水路の整備による用水の安定供給など、効率の良い営農活動を行う必要があります。	<ul style="list-style-type: none"> ● 高 ○ 低
	有効性	<ul style="list-style-type: none"> □ 上位施策への貢献 ■ 市民満足度を高める方策 ■ 継続による成果向上の可能性 □ その他 	効率的な営農活動とともに、市民に地元産の安心安全な食糧を安定供給し、安心安全な地域づくりに寄与する必要があります。	<ul style="list-style-type: none"> ● 高 ○ 低
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> ■ 事業の目的、対象、内容 ■ 受益者負担、補助額 □ 業務の執行体制(人員配置、業務分担) ■ その他 	農道及び用排水路の改修整備により、耕作放棄の解消や緑地保全による地球温暖化の防止などに役立たせ、公益性の増大につながります。	<ul style="list-style-type: none"> ● 高 ○ 中 ○ 低
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> ■ 業務プロセス改善による効率化の方策 ■ コスト削減の可能性 □ 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) ■ その他 	経済的な工法を採用し、更なるコスト削減に取り組み、事業の効率の向上を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> ● 高 ○ 中 ○ 低
今後に向けた課題の分析		この事業は、市民へ安定的に食糧供給をする上で大変有効なものですが、整備にあたっては環境や景観にも配慮して進める必要があります。		

3. 年度別事業内容・決算額

(単位:千円)

		平成21年度 決算額	平成22年度 決算額	平成23年度 決算額	平成24年度 予算額
事業内容		農道:北豊田・岡崎など、用排水:豊田打間木・横内など	農道:北豊田・岡崎・土屋等、用排水路:横内・大島・大神等	農道:北豊田・岡崎・土屋等、用排水路:横内・南豊田等	農道:岡崎・南金目等、用水路:横内・北金目等
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	4,500
	県支出金	31,400	32,655	35,000	38,800
	起債	0	0	0	0
	その他 特財	0	0	0	0
	一般財源	53,591	56,933	66,082	68,630
事業費 (A)		84,991	89,588	101,082	111,930
執行率 (%)		96.25	99.85	99.81	
内訳	職員 (人)	3.32	2.83	2.35	1.85
	再任用 (人)	0.20	0.10	0.10	0.30
人件費 (B)		28,432	23,714	19,381	15,849
フルコスト (A+B)		113,423	113,302	120,463	127,779

4. 今後の事業展開(担当課としての提案)

平成25年度の取組方針	更なる環境にやさしい農道・用排水路の整備を推進していきます。
課長コメント	優先順位を考慮しながら、国、県の費用を効果的に活用し、事業を効果的に進めました。引き続き、農業基盤施設の整備を継続的に進めます。